

# 第9回通常総会資料

新緑の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染の拡大がまだまだ予断を許さない状況です。

第9回通常総会を6月第1週の土曜日を予定していましたが、中止とさせていただきます。議案につきましては、会員の皆様からの書面評決にて議決することとしました。皆様には総会資料を確認いただき、書面評決書の提出をお願い致します。

富山県農村医学研究会

# 書 面 評 決 書

令和4年度富山県農村医学研究会第9回通常総会の議事について  
下記の通り書面評決します。

議 事	記	承認の有無	
第1号議案 令和3年度事業報告および収支決算報告書		承認する	承認しない
第2号議案 令和4年度事業計画案および収支予算書案		承認する	承認しない

令和 4年 月 日

所属

氏名

印

富山県農村医学研究会会長 殿

提出先

富山県農村医学研究会事務局  
厚生連高岡健康管理センター内

吉田

# 令和3年度事業報告

## I. 事業の概要

令和3年度の事業終了に当たり、事業の概況について報告致します。

本会では豊かな農業・農村を維持する農業者の健康づくりについて様々な調査研究を行ってまいりました。

特に、本会設立以来、全国に先駆けて農作業事故の実態調査を続け、農水省が実施する「農作業事故の対面調査」を主導的に推進してまいりました。また、高齢者が農作業に携わる事による健康保持増進効果に関する調査も引き続き実施してまいりました。

これらの研究成果は、令和3年10月にWebで開催された第70回日本農村医学会、並びに令和04年3月開催の第39回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会(新型コロナウイルス感染拡大で中止)など、各種学会で発表してきました。

以上、本会の活動は、医療関係者はもとより行政、農協および農村の保健と医療に関心のあるあらゆる方々の協力により実施されてきました。次年度も引き続き事業計画に基づき、さらに研究調査に鋭意取り組んでいきたいと思っておりますので、会員各位の絶大なるご協力をお願いいたします。

## II. 主な事業項目の概要

### 1. 研究調査活動

#### (1) 農業災害事故調査

##### 目 的

昭和45年から実施している、農業機械災害事故および農業機械以外の農作業災害事故調査について継続して実施した。

##### 調査方法

例年通り、県内の関連する医療機関約800カ所に対して臨床例の有無について照会し農作業事故の臨床例の収集を行った。なお、40年以上続いた全共連富山県本部の生命・傷害共済証書より事案の抽出は、平成24年度以降今年度も事案収集がでず、過去の連続調査の質とここ5年間では例数や内容が大きく変わっている。今年度は全共連で検索事項など検討することになり、2018, 2019, 2020, 2021年は提供されませんでした。

##### 調査結果と考察

医療機関より収集された臨床例は農機22例、農機外22例、計44例で、うち死亡事故は6例であった。富山県農業災害事故調査報告書は、当会のホームページに掲載してある。

<http://www.kouseiren-ta.or.jp/pagedata/n-tnouson/index.html>

#### (2) 農業機械の騒音に関する調査研究

##### 目 的

昨年度に引き続き、農業機械の騒音について、作業時の騒音測定を行い、農作業者の騒音性難聴の発生を防ぐことを目的とする。

##### 調査方法

各種農業機械の作業時の騒音について、特に騒音性難聴を惹起するとされる4000Hzの騒音について1/3オクターブ分析ができる騒音計を用いて測定した。

##### 調査結果の分析と発表

小型のエンジンを持つ、前年に引き続き刈払機や動力散布機等の騒音を測定した。前年報告と同様、小型エンジンを用いている農機の4000Hz前後の騒音性難聴を惹起する周波数帯の騒音レベルが高く、防護対策の徹底が必要と考えられた。

### (3) . 高齢者の「認知－判断－操作」の機能評価

#### 目 的

高齢者が農業機械を操作する際に、危険を「認知」して、どのような操作をすべきか「判断」して、実際に判断した通りに「操作」することが必要である。この「認知－判断－操作」の一連の流れが滞ると、事故につながりかねない。この機能評価に前年に開発した「モグラ叩き」ソフトを用い、各年齢毎の標準値を求め、実際の作業者がどの程度の水準出来るかの指標となるよう、標準化のための調査を行った。

なお、昨年度同様の調査を行っているが、例数をさらに増やし、年齢標準線の一般化をめざした。

#### 方 法

平成29年度において、「モグラ叩きゲーム」を点数化するソフトを確定した。

+1点、+2点、-1点、-2点の4種類のモグラのキャラクターが次々と出現し、時間は1分間である。各種会合参加者に「モグラ叩き」を点数化各年代別に一定の人数の被験者にて、「モグラ叩き」を実施し、併せて農作業時の事故経験、ヒヤリハットなどをアンケート調査し、モグラ叩きの点数と、事故との関連について検討した。調査は3回テストを行い、その最高点をその人の点数とした。

「モグラ叩き」による「認知」⇒「判断」⇒「操作」機能の評価について

モグラ叩きの結果判定基準値を、得点、敏捷性（1打点に要する時間）、間違い率（総打点数に対する間違っ叩いた回数の比率）の3項目と対同年代得点・判定、総合判定、グラフについて設定を特定し、ソフトの改修を進めている。

#### (4) 研究助成

酒井理事の富山県農業における農法転換の可能性に関する研究（Ⅰ）－富山県における慣行農業の現状と課題、及び、農法変革への取り組み－

近年では「みどりの食料システム戦略」として取り組んできた路線である。転換農法の典型は、有機農業である。富山県農業において、そのような農法転換の可能性はあるのだろうか？ 本研究では、慣行農業の現状を把握した上で、生物多様性の視点から県内の有機農業の実態を把握・類型化し、その可能性を検討する。その結果をもとに、有機農法普及の必要条件を明らかにしたい。

大変意義のある研究で、これに対して助成金を15万円とした  
年度末に、報告を受ける。報告は、会誌第40巻に掲載した。

## 2. 各種研究会参加

### (1) 第70回日本農村医学会学術総会 Web開催

- ・開催日 令和3年10月6日（木）～10月27日（水）
- ・会員発表 4題

#### ① 果樹作業におけるスピードプレイヤー（SS）の事故様態分析結果について

富山県農村医学研究所 大浦栄次

#### ② 大工建設作業従事者と一般の健診受信者の生活習慣病関連データの比較（男性）

厚生連高岡健康管理センター 小杉久子

#### ③ 富山県における農業災害事故の状況

－2013～2019年－

富山県農村医学研究所 吉田稔

#### ④ 巡回健診の意義について

－富山県厚生連巡回健診13年間（平成18年～平成30年）のデータ解析－

富山県農村医学研究所 寺西秀豊

### (2) 第39回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会

- ・開催日 令和3年3月 新型コロナ感染拡大のため中止で抄録作成
- ・会員発表 4題

#### ① 大工建設作業従事者と一般の健診受信者の生活習慣病関連データの比較

厚生連高岡健康管理センター 小杉久子ほか

- ② 健診の秘訣を健診データから探る  
厚生連滑川健康管理センター 新田一葉ほか
- ③ 富山県の公式統計情報を用いた新型コロナ感染症の疫学増の検討  
富山県農村医学研究所  
富山協立病院 寺西秀豊
- ④ 高所作業車93例の事故様態分析  
富山県農村医学研究所 大浦栄次ほか

Ⅲ. 主な行事（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

年.月.日	主 な 行 事	
	事 項	場 所
R3.5	役員会 書面評決	
R3.6.4	第8回総会 書面評決	
R3.6.4	第39巻会誌発刊	
R3.8.5	役員会	厚生連本所応接室
R3.10.6 ～10.27	第70回日本農村医学会総会 We b 開催	(演題4題)
R3.10.8	富山県農業災害事故実態調査（前期）	県内医療機関
R3.12.2 0	役員会	厚生連本所応接室
R4.2.4	富山県農業災害事故実態調査（後期）	県内医療機関
R3.5	第38回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会 新型コロナウイルス感染拡大で中止	(会員発表4題)

Ⅳ. 総会

第8回総会

総会日現在会員数		308名
出席会員 数	書面評決した会員数	163名
	計	163名
重要なる議事及び議決事項		
第1号議案		
令和2年度事業報告・収支決算書承認について		原案承認
第2号議案		
令和3年度事業計画案・収支予算書案承認について		原案承認

# 令和 3 年 度 収 支 決 算 書

(自令和03年04月01日～令和04年03月31日)

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額	備 考
会 費 収 入	306,000	306,000	0	
会 費	306,000	306,000	0	306人×1,000円
特別負担金	1,470,000	1,470,000	0	
特 別 負 担 金	870,000	870,000	0	870,000円(厚生連)
調査研究協力費	600,000	600,000	0	厚生連より繰入
雑 収 入	100	10	-90	
雑 収 入	100	10	-90	利息など
前期繰越金	685,038	685,038	0	
収 入 計	2,461,138	2,461,048	-90	

支出の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額	備 考
会 議 費	400,000	80,679	-319,321	
総 会 費	300,000	64,780	-235,220	資料他
役 員 会 費	100,000	15,899	-84,101	役員会3回
事 業 費	1,780,000	1,446,718	-333,282	
研 究 調 査 費	1,000,000	940,270	-59,730	各種調査研究
専 門 委 員 会 費		0	0	〃 打合せなど
研 究 集 会 費	100,000	25,000	-75,000	発表集会抄録、会場費ほか
会 誌 発 行 費	500,000	328,900	-171,100	
編 集 委 員 会 費		0	0	
通 信 費	100,000	92,548	-7,452	
消 耗 品 費	80,000	60,000	-20,000	
備 品 ・ 什 器		0	0	
旅 費 交 通 費	200,000	66,430	-133,570	
旅 費 交 通 費	200,000	66,430	-133,570	日本農村医学会・参加費など
雑 費	0	11,044	11,044	
雑 費	0	11,044	11,044	
予 備 費	81,138	122,660	41,522	
予 備 費	81,138	122,660	41,522	第23期役員特別負担金
支 出 計	2,461,138	1,727,531	-733,607	
次 期 繰 越 金	0	733,517	733,517	

# 財 産 目 録

(令和04年3月31日現在)

(単位：円)

内 訳	金 額	備 考
預 金	733,517円	
計	733,517円	

## 監 事 の 意 見 書

令和04年5月19日に会長理事から提出された第1年度の事業報告書、財産目録、収支決算書の各事項について監査致しました。その結果、以上の内容は適正なものと認めます。

令和04年 5月 19日

富 山 県 農 村 医 学 研 究 会

監事 高 木 茂



監事 橋 本 直 輝



# 令和4年度事業計画（案）

## I. 事業方針

富山県内の農山漁村におけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。

特に、農薬中毒や農業災害、職業性疾患等農業医学的分野及び、農村環境や農村生活に起因する農村医学的分野について調査研究を行う。さらに、命を育む農業を営む事の精神的、社会的、文化的意義を明らかにし、心豊かな農村づくりに寄与する。

## II. 事業計画概要

### 1. 農村の職業性疾患の調査研究

- ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究

### 2. 農業災害の調査研究

- ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
- ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究

### 3. 農薬の生体に及ぼす影響に関する調査研究

- ・農薬中毒の実態調査
- ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究
- ・農薬の生体残留に関する調査研究

### 4. 健康管理に関する調査研究

- ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
- ・農業従事者の健康管理に関する調査研究
- ・農業従事者の生活習慣病の実態調査とその対策に関する調査研究

### 5. 農村における社会医学的研究

- ・農村における高齢者に関する調査研究
- ・社会変動による農業従事者の生活・健康に及ぼす影響についての調査研究
- ・都市近郊農村における社会医学的研究
- ・農村における食生活の変化と健康影響に関する調査研究

### 6. 農村における特殊疾患の調査研究

- ・伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究

### 7. 農村における環境汚染およびその変化と健康影響に関する調査研究

### 8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究

### 9. 農村の健康会議、健康教室等の実施

### 10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行

### 11. 研究集会の参加及び開催

### 12. その他目的達成に必要な事項

## III. 主な事業計画

### 1. 主な調査研究

#### (1) 農業災害に関する調査研究

- ①富山県における農業災害事故調査
- ②農業災害事故のケーススタディ
- ③高齢者の農作業安全に関わる調査研究



(2) 農薬中毒に関する調査研究

- ①農薬散布者の健康調査
- ②有機リン剤の体内残留に関する調査研究

(3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究

- ①農村地区における花粉症に関する調査研究
- ②農村住民のアレルギー疾患に関する調査研究

(4) 農作業及び農作業環境と健康障害に関する調査研究

- ①各種農作業における作業環境及び労働負荷に関する調査研究

(5) 農山村における騒音と聴力障害などに関する調査研究

- ①農業機械の騒音分析及び作業中騒音暴露量の測定

(6) 農村環境の変化と健康影響に関する調査研究

- ①農村における熱中症など温暖化影響に関する調査研究
- ②農村における自然エネルギーの実態と利用の将来的可能性に関する調査

(7) 農村における生活習慣と健康に関する調査研究

- ①食生活と健康に関する調査研究
- ②農村生活の変化と健康障害に関する調査研究
- ③農村におけるメタボリックシンドロームの実態とその対策

(8) 農村におけるプライマリーヘルスケアに関する調査研究

- ①農村における健康管理運動に関する調査研究
- ②農村検診における各種疾患の要因分析に関する調査研究

(9) 農村における高齢者問題に関する調査研究

- ①農村高齢者の生きがい因子の解析に関する調査研究
- ②農村高齢者の農作業と骨密度の関連に関する調査研究
- ③農村における介護および認知症等に関する調査研究

(10) その他、農山漁村における各種健康・保健調査の実施

2. 各種研究集会参加・交流並びに開催

- (1) 第40回富山県農村医学研究及び健康管理福祉活動発表集会の開催  
令和5年3月4日(土) 予定、厚生連高岡病院地域研修センター I

- (2) 第71回日本農村医学会

開催日時：令和4年10月 山口県山口市開催予定

3. 会誌等の印刷物の発刊

- ①会誌の発刊
- ②農村医学に関する啓蒙資料の作成
- ③その他

4. その他目的達成に必要な事業

# 令和 4年度収支予算書

(自令和04年04月01日～令和05年03月31日)

収入の部

(単位：円)

項 目	前年度	予算額	備 考
会 費 収 入	306,000	306,000	306人×1,000円
会 費	306,000	306,000	
特別負担金	1,470,000	1,470,000	870,000円(厚生連) 厚生連より繰入
特 別 負 担 金	870,000	870,000	
調査研究協力費	600,000	600,000	
雑 収 入	100	100	利息など
雑 収 入	100	100	
前期繰越金	685,038	733,517	
収 入 計	2,461,138	2,509,617	

支出の部

(単位：円)

項 目	前年度	予算額	備 考
会 議 費	400,000	400,000	
総 会 費	300,000	300,000	資料、会場費、講師料他
役 員 会 費	100,000	100,000	役員会3回
事 業 費	1,780,000	1,780,000	
研究調査費	1,000,000	1,000,000	各種調査研究
専門委員会費	0		〃 打合せなど
研究集会費	100,000	100,000	発表集会抄録、会場費ほか
会誌発行費	500,000	500,000	
編集委員会費	0		
通信費	100,000	100,000	健康管理センター60,000
消耗品費	80,000	80,000	健康管理センター60,000
備品・什器	0		
旅費交通費	200,000	250,000	
旅 費 交 通 費	200,000	250,000	日本農村医学会・参加費
雑 費	10,100	0	
雑 費	10,100		
予 備 費	71,038	79,617	
予 備 費	71,038	79,617	
支 出 計	2,461,138	2,509,617	
次期繰越金	0	0	

役員名簿

富山県農村医学研究会役員名簿

R4.7.1

理 事	役	職
鏡 森 定 信	富山産業保健総合支援センター所長	
雄 川 洋 子	県農業技術課 課長	
安 藤 満	元富山国際大学 教授	
寺 西 秀 豊	元富山大学医学部公衆衛生学教室 准教授	
酒 井 富 夫	富山大学名誉教授	
中 崎 美 峰 子	富山県衛生研究所 副主幹研究員	
亀 谷 富 夫	厚生連高岡健康管理センター所長	
寺 田 光 宏	厚生連高岡病院 院長	
小 栗 光	厚生連滑川病院 院長	
大 岩 満	富山県農協中央会農業対策部 部長	
堀 田 和 豊	全農富山県本部生活燃料部 部長	
西 川 藤 樹	富山県厚生連 代表理事理事長	
大 浦 栄 次	富山県厚生連 健康福祉アドバイザー	
谷 井 悦 子	富山県農協女性組織協議会 会長	
林 幸 治	富山県農協青年組織協議会 会長	
監 事	役	職
伊 井 徹	厚生連滑川病院 副院長	
高 木 茂	富山県厚生連 常務理事	
顧 問	役	職
熊 谷 武 夫	元高岡市保健センター 所長	
小 川 忠 邦	元老健施設みしま野苑一穂 施設長	

事務局長

吉 田 稔 富山県厚生連健康福祉課付審査役

理事

就任 富山県農林水産部農業技術課 課長 雄川 洋子  
 富山県農協青壮年組織協議会 会長 林 幸治  
 厚生連滑川病院 副院長 伊井 徹  
 退任 富山県農林水産部農業技術課 課長 串田 泰彦  
 富山県農協青年組織協議会 会長 高木 謙太郎  
 厚生連滑川病院 副院長 橋本 直輝

顧問

退任 金沢西病院 理事長 菊池 誠